

野々山隆幸横浜市大名誉教授 令和5年度「集い」にて特別講義開催！

11月12日(日) 12時より 大阪新阪急ホテル

関西在住の「野々山ゼミ出身者」は、全員集合されたし！

近畿進交会会長 麻野広行

同封の「近畿進交会集い」の案内ハガキ（この会報に同封）にて出欠のご返事をお願い致します。

近畿進交会会員でない方々も直接メールでも受け付けております。(asano3300ha@yahoo.co.jp 麻野まで)

また、関西に在住でなくとも野々山隆幸名誉教授に久しぶりにお会いしたいという方もウエルカムです。

(他イベント、講義後の同窓会懇親会費込みの会費¥8,000 となります)

（野々山隆幸名誉教授の談話から抜粋）

「関西に多くの野々山ゼミ出身者がいますね。頼もしいかぎりです。「集い」の当日、お会いできれば教師冥利につきます。参集を呼びかけていただくようお願いします。40～60分程度の特別講義、お引き受けいたします。」

テーマ：「セブン&アイ・ホールディングスの経営戦略～多角化から選択と集中へ～」

概要：横浜市立大学の源流は、横浜市立横浜商業専門学校（Y専）です。Y専の卒業生に、伊藤ヨーカ堂グループ創業者の伊藤雅俊がいます。伊藤ヨーカ堂グループは、セブン&アイ・ホールディングスとなり、その経営戦略は多角化から選択と集中へ転換しています。

講師紹介（RESEARCHMAP等より）



【研究キーワード】

電子会計実務・ビジネスゲーム・eラーニング・経営情報教育

【専門】

経営情報論

【プロフィール】

1971年3月 一橋大学大学院商学研究科修士課程修了
1971年7月 横浜市立大学商学部助手
1974年4月 横浜市立大学商学部専任講師
1975年4月 横浜市立大学商学部助教授
1989年9月 横浜市立大学商学部教授
2005年4月 横浜市立大学国際総合科学部教授
2012年4月 横浜市立大学名誉教授（現在に至る）

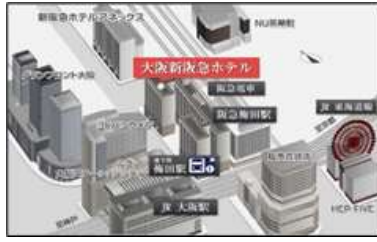
【著書】

編著[2005]『経営学』創成社

編著[2014]『最新ITを活用する経営情報論』テン・ブックス

令和5年度近畿進交会「集い」ご案内

会場：大阪新阪急ホテル 2階 宴会場
(大阪市北区芝田 1-1-35 06-6372-5101)



(JR大阪駅、阪急・阪神・地下鉄各梅田駅)

開催日：11月12日(日)

受付開始：11時半～

総会・特別講義・懇親会：12時～15時
(市大の近況報告、「抽選会」等)

会費：8,000円(ご家族：5,000円、新卒会員：無料)

※10月20日までに同封ハガキで出欠
のご返事をお願い致します。ご欠席
の場合でも、近況等、ぜひご連絡く
ださるようお願い致します。



野々山ゼミ生からのお便り

野々山ゼミの集いに参加します

大西正泰(平13商)

夜分遅くすみません。

地方市役所の避難所運営でこの時間に帰宅です。

2000年卒業生のはずが就職留年で2001年卒業生の
大西正泰です。

諸先輩方には大変お世話になりました。

同期は土屋さん、大佛さん、高橋さん、菊池さん、丁
明さんなどの多才な方々です。

野々山先生には就職留年を勧められ命拾いました。
おかげで勤続22年目です。

先生の講義は新鮮で役に立つことばかりです。

是非参加したいです。

以上、よろしくお願ひいたします。

野々山先生の特別講義と懇親会に関して

狩野哲郎(平6商)

お世話になっております。

横浜市立大学商学部経営学科 体育会硬式野球部 94
年3月卒業の狩野哲郎と申します。

野々山先生の特別講義のご案内を頂きまして誠に
有難う御座います。

現在バングラデシュに駐在中の為、残念ながら参加は

叶いませんが、野々山先生に宜しくお伝え頂ければ
幸甚です。

バングラデシュでは業務の傍
ら、週末はバングラデシュ野球
代表チームのコーチをしており
まして、読売巨人軍のコーチ
の招聘や海外遠征も行うなど
プレーは引退しましたが、指導で日バの交流をさせて
頂いております。



近畿進交会サークル活動(令和5年度)

「ゴルフ同好会」に初参加

古内秀樹(平7文理)

4月13日(木)、初めて近畿進交会ゴルフコンペに
参加させていただきました。

近畿進交会の幹事にな
って、10年近く経つもの
の、何の役にも立てて
おらず、また、こうい
った行事にもなかなか
参加できませんでしたが、
いつかは参加したいと
思っておりました。



ご案内をいただいた際、「平日だし仕事は休めない」、
とか「もしかして転勤しているかも??」と思いま
したが、そんなことではいつまで経っても参加でき
ません。意を決し、参加申し込みをいたしました。

案の定、ゴルフ開催予定日に重要会議の通知が。会
議開始は15時。私が報告する事項もあります。「出場
断念か・・・」と迷いましたが、コロナ禍における働
き方改革で、リモート会議でも十分成り立っているこ
と、15時開始ならラウンド終わって、ギリギリ(リモ
ート)参加には間に合うと考え、思い切って出場す
ることといたしました。

場所は茨木国際ゴルフ倶楽部。このような名門コ
ースはもちろん初めてでしたが、ロケーションは最高、
素晴らしいコースでした。ただ、グリーンは難しか
ったです。

ご一緒した皆さま、私の父親くらい年が離れてい
るにも関わらず、優しく接していただき、楽しくラウ
ンドすることができました。ショートホール以外は私に

お付き合いいただき、ホワイトティで回っていただいたのですが、私と大して変わらない飛距離で驚きました。

焦っていたのか、緊張していたのか、はたまたゴルフ終了後の会議が気になったのか（全て言い訳です!）、あらゆるショットがボロボロ。グリーンも見た目とは違ったボールの曲がり方や転がり方で、なかなか入ってくれません。

せつかく、コースのガイドや、グリーンの芝目を教えていただいたにも関わらず、全く活かすことができませんでした。そんなこんなでスコアは最悪でしたが、しっかりとBB賞をいただきました。

今回は10月26日（木）、平日なので参加できるかはわかりませんが、同じコース（茨木国際ゴルフ倶楽部）ですので、リベンジ&もう少し上位を狙えるよう、練習しておきます。

ちなみに、会議開始時間が遅れたこともあり、なんとかゴルフ場の駐車場に停めていたマイカーの中で無事会議を乗り切りました。

第3回「歩こう会」の報告

麻野広行（昭50商）

近畿進交会サークル活動「歩こう会」は、5月12日大阪道修町（道修町ミュージアムストリート）から大阪市中央公会堂そしてお初天神までのコースを巡りました。

道修町通りには、医薬品に関する展示施設が複数有り「くすりの道修町資料館・田辺三菱製薬資料館・住友ファーマ展示ギャラリー・杏雨書屋（武田科学振興財団）・塩野義製薬本社展示コーナー」で、これらの施設をつなぐ約300mの通りを「道修町ミュージアムストリート」と呼んでいます。



最初に私達は「少彦名神社」にお詣りしました。少彦名神社の歴史は1780年わが国の薬祖神である少彦名命の分霊を京都五條天神宮から大坂・道修町薬種仲間の寄合所にお迎えしたことに始まります。祭神は「薬草の効能を教え、諸病を救い、災いを除く」とされています。「神農さん」としても有名です。

田辺三菱製薬資料館では担当者様から説明を受けました。1604年田邊屋又左衛門は朱印船をもって東南アジア



との貿易に乗り出し、その地の貴重な薬材をわが国に数多く輸入・紹介していました。この事業は民間医薬品輸入の草分けと言えます。1678年初代田邊屋五兵衛は合薬の製造販売を家業として大阪土佐堀の地に独立開業し1791年六代五兵衛は道修町に進出しています。特に、初代田邊屋五兵衛の時「たなべや薬」が評価され朝廷から「勅許 御振薬調合所」を授かり創業から300年有余の間人々の健康に貢献してきました。

武田科学振興財団の杏雨書屋は、五代武田長兵衛が東洋医薬書を中心に和漢の善本を収集して社会のために役立てようと決心され六代長兵衛に引き継がれ、東洋医薬書の一大文庫「杏雨書屋」を形成するに至ります。杏雨とは杏林（医学界）を潤す雨の意です。武田家では広く学術振興に寄与する事を目的としてこの収書を武田科学振興財団に寄付され武田薬品工業（株）からの寄贈書と併せて1978年「杏雨書屋」が公開されました。国宝や重要文化財・重要美術品が多数展示されています。

炎天下、日陰を探して歩き、大阪市中央公会堂の地下で展示コーナーを見て休憩を取りました。ここから曾根崎のお初天神まであと少しで、その後のビールでの乾杯を楽しみに元気よく歩き出しました。約一万歩の行程で、心地よい汗を掻いた後のビールは五臓六腑に染み渡る私達の良薬となりました。

さて、今回は、「環濠自治都市・平野郷めぐり」(内田顧問案) 日時:10月28日(土) 13:30~16:30頃まで 集合:JR平野駅(大和路線)南口改札 13:30 注意事項:小雨決行、帽子・飲料水・マスク等 主なコース:

JR平野駅→大念佛寺→全興寺→含翠堂跡→古河 藩陣屋の碑→杭全神社→平野郷環濠跡→JR平野駅(解散)

内容:平野郷は平安時代の征夷大将軍坂上田村麻呂ゆかりの郷です。また 杭全神社・大念佛寺・環濠跡など歴史的な建物も多く、住民の「平野町ぐるみ博物館」としての活動も有名です。

第4回落語を聴く会 in 神戸（喜楽館）のご報告

牧一郎（昭51医）

日時:令和5年6月24日(土) 参加者:森岡さんご夫妻、麻野、大井、大上、竹田、大塚、牧

喜楽館は阪急・阪神新開地駅の東改札口から2分、新開地商店街の中に立



地。駅からは案内があり迷わずに行けます。

開場前に喜楽館入り口に集合しました。そこで若手の噺家（桂小文三）さんが入口前で呼び込みの一番太鼓を披露してくれました。お客さんがたくさん来るように「どんどんどんとこい」というリズムで打つそうです。また開演直前にはお客さんに福が来るようにと「おたふくこいこい」と聞こえる2番太鼓もありました。



今週は「プロ野球応援ウイーク」で、野球のユニホームを着た観客も大勢来ていました。途中で、桂塩鯛師匠、桂春若師匠と伊藤史隆初代喜楽館館長（ABC シニアアナウンサー兼務）の野球トークがありました。バッファローズユニフォームの塩鯛師匠、ホークスユニフォームの春若師匠が昔の南海ホークス、近鉄バッファローズ時代の思い出を熱く語り合いは新鮮で楽しかったです。タイガース絡みの野球クイズもあり、タイガースファンの私は大興奮でした。残念ながら賞品は山口県から来た方にさらわれましたが、落語とプロ野球のコラボにそんな遠くの方が神戸まで来られていることも分かりました。



プロ野球の内容でのトークをされた噺家さんもうらっしゃったので、落語を聴けたのは、桂小文三、塩鯛師匠、笑福亭べ瓶、桂春若師匠の4氏でした。時間いっぱい「禁酒関所」を話してくれた塩鯛師匠と時間が短かったですが、「相撲場風景」を迫力満点の語り口で聴かせてくれたべ瓶さんの噺が聴き応えありました。

落語に大いに満足したあとは、いつも通り打ち上げに。麻野会長以下5名で参加、新開地駅地下の飲み屋さんでのどを潤しながらよもやま話に花が咲きました。

秋に行う近畿進交会の「集い」で横浜市大の野々山名誉教授がご講演いただくため、ゼミの卒業生の方もご参加いただけそうだとのこと、今年はいつもとより賑やかな「集い」になることを期待しています。

最後に、準備いただいた大塚さん、京都から参加いただいた森岡さんご夫妻にお礼申し上げます。

次回の落語を聴く会は、9月頃に繁昌亭で予定しています。

令和4年度近畿進交会第4回幹事会の報告

日時：令和5年2月4日（土）12：00～15：00

場所：中華料理大東洋

出席：麻野、三木、大井、塚本、井原、田邊、竹田、牧、大上、岡田、植田、森岡、大塚（オブザーバー）

1. 令和4年度「近畿進交会の集い」開催の総括

- ・3年ぶりの開催を前向きに評価。
- ・課題は、より幅広い交流をはかり、今後の活動発展のためには参加者の増加に加えて若い会員と女性の会員への働きかけが重要であることを確認。
- ・集いに参加したいというモチベーションを高める工夫が必要。

2. 令和5年度「近畿進交会の集い」の日程と場所

- ・2023年11月12日（日）12時～15時 大阪新阪急ホテル に決定。

3. 具体的な活動

- ・年度幹事を勧誘して、卒業年次で横に展開する活動をしてもらいたい。きっかけとしては、平成、令和の卒業年次の同窓生との交流活動の再開など提案。
- ・モチベーションを高めるために、近畿進交会の活動を発信することが必要。今のサークル活動に加えて何か会としての活動を考えてはどうか。また、集いの内容を魅力的なものにする工夫も必要。

4. 運営の準備

- ・今回体験した小さなトラブルを糧に、様々な場面を想定した準備をする。

5. 「しんこう」77号の発行

- ・編集会議3/18（土）発行時期5/9の予定。
- ・令和4年度の「近畿進交会の集い」特集とする。

令和5年度近畿進交会第1回幹事会の報告

日時：令和5年5月27日（土）14：00～16：00

場所：インスジュールーム（中崎西）

出席：麻野、三木、川戸、大井、塚本、井原、田邊、竹田、牧、大上、柳、内田、森岡

書面：植田、古内

1. 新役員体制の確認について

- ・令和5年5月に現幹事の任期が満了に伴い近畿進交会会則の規定に基づき、役員を選任。新役員体制は別掲の通り。

2. 令和5年度「集い」（令和5年11月12日：新阪急ホテル）について

- ・会費8,000円（同行者5,000円）とする。
- ・参加のモチベーションを高める企画、会員の関心を集める企画として、近畿進交会会員にも多くのゼミ出身者がいる野々山元教授を招聘し、ご講演いただく。
- ・大学及び進交会本部との連携のため、引き続き大学当局及び進交会本部に参加を要請。

3. 近畿進交会活動の活性化について

- (1) 進交会本部及び横浜市大同窓会との連携
- (2) 近畿進交会会員の勧誘・年度幹事の増員に関する具体的な戦略
 - ・各幹事から卒業年度の近い会員へ働きかけ
 - ・平成年代の卒業生と役員との交流は継続維持など
- (3) サークル活動について

4. 「しんこう」78号の発行

- ・編集会議 8/5（土）発行時期（9/20頃）
- ・出欠ハガキ 10/20㍻とする。（通信欄の活用）

近畿進交会組織図

（任期：令和5年5月～令和7年5月）

会 長	麻野広行	
副会長	三木得生	「集い」担当
副会長	川戸眞吾	会計
副会長	大井 孝	「しんこう」編集長
副会長	塚本義久	事務局長・編集委員
常任幹事	井原幸治	近畿Y校会長・編集委員
常任幹事	田邊俊二	幹事勧誘担当
常任幹事	竹田 博	会計監査
幹 事	牧 一郎	「医学部卒」担当
幹 事	大上正通	編集委員
幹 事	古内秀樹	「平成卒」担当
幹 事	岡田久子	「看護学科卒」担当
幹 事	柳 敏夫	「集い」担当
相談役	植田美夫	
顧 問	内田正雄	
顧 問	森岡 章	

サークル世話人 ゴルフ同好会：城島（植田）
 落語を聴く会：牧（大上）
 歩こう会：麻野（内田）

近畿進交会会則（令和4年11月12日施行）

第1章 総則

（名称）

第1条 この会は近畿進交会という。

（設立）

第2条 この会は昭和57年（1982年）1月26日に一般社団法人進交会の近畿支部として設立し、平成23年（2012年）1月の設立30周年を期して近畿進交会と改称した。

（事務局）

第3条 この会の所在地を事務局長宅に置く。

第2章 目的及び事業

（目的）

第4条 この会は会員相互の親交を図るとともに、母校との連絡・情報交換を目的とする。

（事業）

第5条 この会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 会員名簿の作成及び管理
- (2) 会員相互の親交を図るための情報交換並びに会合の開催
- (3) 機関紙「しんこう」の発行
- (4) 母校並びに進交会本部との連絡に関する事項
- (5) その他目的を達成するために必要な事項

第3章 会員

（会員）

第6条 この会の会員は次の通りとする。

- (1) 正会員

横浜市立大学及び横浜市立横浜商業高等学校並びに各校の前身校（Y専等）の卒業生で近畿地区に在住もしくは在勤する者とする。

- (2) 名誉会員

この会に対し特に功労のあった者で幹事会にて推薦された者とする。

第4章 運営会費

第7条 正会員は、この会の運営会費として毎年三千元を納めるものとする。

なお、当該年度の運営会費のほか、本会運営に対する寄付については別途受納することができるものとする。

第5章 役員及び任務

（役員）

第8条 この会に次の役員を置く。

- (1) 幹事 30名以内（内、会長1名、副会長5名以内（内、事務局長1名、会計1名、「しんこう」編集長1名）及び常任幹事若干名を執行役員とする。）
- (2) 会計監査 2名
- (3) 相談役 若干名
- (4) 顧問 若干名
（役員を選任）

第9条 幹事は原則として各卒業年次より選出し、幹事会を組織する。

2 幹事は幹事会において互選により会長ほかの執行役員を選任する。

3 会長は副会長、事務局長、会計、編集長及び常任幹事並びに会計監査を指名することができる。ただし、全て幹事会の了承を得るものとする。

4 相談役及び顧問は幹事会の推薦に基づき会長が委嘱する。
（会長・副会長）

第10条 会長はこの会を代表し、その運営の責任者となる。

2 副会長は会長を補佐し、会長に支障があるときはその任務を代行する。

（事務局長）

第11条 事務局長は本会運営の事務全般を担当する。
特に会員の動静は会運営の根幹であり、会活動の円滑な運営に資するため会員の異動を常に掌握し、変更等について「しんこう」各号に掲載する。

(会計)

第12条 会計はこの会の収支等会計業務全般を担当する。

(編集長)

第13条 編集長は機関紙「しんこう」の発行にかかる編集全般を担当する。編集長は必要に応じて編集を円滑に進めるため編集委員を任命することができる。

(会計監査)

第14条 会計監査はこの会の会計処理について、正しく監査を行う。

(幹事)

第15条 会長以下の幹事は幹事会を組織し、会員の意見集約・情報交換等を行うなど、この会の運営を主体的に担う。また、会長・副会長が主管する委員会活動に積極的に参加する。

(相談役・顧問)

第16条 相談役・顧問は会長、副会長の諮問に対して直接助言する。また、会議に出席して意見を述べる。

(任期)

第17条 この会の役員の任期は、2年とし再任を妨げない。

2 会長は5月に幹事会を招集し、2年毎に改選を行う。なお、役員は任期満了後も後任者が就任するまではその任務を行う。

第6章 総会及び会議

(総会)

第18条 総会は全ての会員によって構成される。

2 総会は次の事項について審議する。

- (1) 会長、副会長、常任幹事、会計監査の選任に関すること。
- (2) 会則の変更に関すること。
- (3) 事業報告に関すること。
- (4) 会計報告、会計監査に関すること。
- (5) 本会の運営及び事業に関すること。

(会議)

第19条 幹事会は幹事及び会計監査で構成される。

2 幹事会は本会の運営、事業の実施その他必要な事項を審議・決定する。

3 正副会長会は会長及び副会長で構成される。

4 正副会長会は本会の運営、事業に係る企画検討その他必要な事項を審議・決定する。

(招集)

第20条 年次総会は会計年度終了後適当な時期に、臨時総会は必要に応じて随時招集する。

2 総会は幹事会の決議に基づき会長が招集する。

3 幹事会及び正副会長会は必要に応じて会長が招集する。なお、幹事会は原則として年3回程度は開催するものとする。

4 編集会議は必要に応じて編集長が招集する。

第7章 親睦会

(集い)

第21条 会員相互の親睦を図ることを目的として、「集い」を原則毎年開催し、その第1部では必ず年次総会を実施する。

2 会長は「集い」を企画・運営するに当たり、役員に役割分担と協力を依頼することができる。

(サークル活動)

第22条 会員相互の親睦を図ることを目的として、スポーツ、文化その他任意の活動（以下「サークル活動」という。）を推奨し、広く会員の参加を募るものとする。

第23条 サークル活動は幹事会に届け出られた世話役が中心となり、会員への案内や報告を機関紙「しんこう」に掲載する。

第8章 会計

(会計年度)

第24条 この会の会計年度は、毎年4月1日に始まり3月31日に終了する。

(収支決算報告)

第25条 この会の収支決算は、毎年会計年度終了後の総会において会計監査の意見を付けて会員に報告するとともに、機関紙「しんこう」に掲載するものとする。

第9章 会則の改定

第26条 この会則は、幹事会及び総会において各出席者数の三分の二以上の議決を経て改定することができる。ただし、必要に応じての文言等の修正は幹事会の議決による改定を妨げない。

附則

1982年（昭和57年）1月26日 設立総会
会則を制定し施行する。

1994年（平成6年）11月9日 年次総会
会則を改定し施行する。

2002年（平成14年）11月16日 年次総会
会則を改定し施行する。

2006年（平成18年）5月26日 幹事会
会則を改定し施行する。

2009年（平成21年）10月21日 年次総会
会則を改定し施行する。

2011年（平成23年）10月12日 年次総会
会則を改定し施行する。

2015年（平成27年）5月20日 幹事会
会則を改定し施行する。

2022年（令和4年）11月12日 年次総会
会則を改定し施行する。

令和4年度会計報告

(R4. 4. 1~R5. 3. 31)

令和5年4月1日

会計 川戸 眞吾



1. 一般会計(単位:円)

(1) 収入の部

摘要	金額	備考
前年度繰越	629,833	
運営会費	283,000	93人(内2名5,000円)
雑収入	0	
受取利息	86	
合計	912,919	

(2) 支出の部

摘要	金額	備考
会報	213,057	会報 75号、76号
会議費	0	
通信費		
総会補助金	113,529	
総会関係費		
平成会補助	0	
事務経費	50,000	
雑費	13,326	
合計	389,912	

(3) 次年度繰越 523,007

内訳1	経常収支繰越	523,007
	平成28年度以降前受金	0
内訳2	郵便貯金普通口座	522,898
	貯金センター原口座	109
	手許現金	0

2. 年次総会特別会計

収入			支出		
会費	6,000	36	216,000	ホテル支払	328,500
会費	4,000	1	4,000	来賓土産	5,029
総会補助			113,529		
合計			333,529		333,529

以上

監査の結果、正しく決算されていると認めます。

会計監査

竹田 博



